プログラム

第１会場（瑠璃１）

8:55～9:00

開会式

挨拶：総会長　村田　　誠（滋賀医科大学医学部医学科 血液内科学講座
滋賀医科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

9:00～9:28

優秀演題賞候補講演１「輸血検査１」

座長：湯本　浩史（滋賀医科大学医学部附属病院　検査部）
山中　博之（近江八幡市立総合医療センター　臨床検査科）

Ⅰ-1　抗JMH保有患者に対してRBC輸血を実施した一例

[1)]関西医科大学附属病院　輸血・細胞療法部、[2)]血液・腫瘍内科
○河村　望未[1)]、阿部　　操[1)]、中村　龍人[1)]、三好　凜花[1)]、桑野　裕一[1)]、
上田　杏実[1)]、関村　　匠[1)]、大澤　眞輝[1)]、二位永　竜[1)]、山岡　　学[1)]、
佐竹　敦志[1,2)]、伊藤　量基[1,2)]

Ⅰ-2　抗Jraおよび複数の不規則抗体を保有した患者への製剤供給に苦慮した一例

[1)]大阪国際がんセンター　臨床検査科　輸血部、
[2)]大阪国際がんセンター　臨床検査科、[3)]大阪国際がんセンター　血液内科
○北爪　玲子[1,3)]、寒川　裕未[1)]、持留　汐莉[1)]、廣岡　杏香[1)]、山本　章史[2)]、
横田　貴史[3)]

Ⅰ-3　抗Jraおよび抗E保有患者に対し不適合輸血を実施した一症例

[1)]地方独立行政法人　奈良県立病院機構　奈良県総合医療センター　輸血部、
[2)]地方独立行政法人　奈良県立病院機構　奈良県総合医療センター　臨床検査部
○小田　美羽[1)]、中村　文彦[2)]、中島　久晴[1)]、高木　豊雅[1)]、上野　真佑[1)]、
北川　孝道[2)]、八木　秀男[1)]

Ⅰ-4　不規則抗体陽性患者に対する緊急不適合輸血後の臨床経過

[1)]大阪大学医学部附属病院　輸血・細胞療法部、
[2)]大阪大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科学、
[3)]医療法人財団　樹徳会　上ヶ原病院
○林　　泰輝[1)]、若松伸乃介[1)]、見山　晋一[1)]、池田　宇慶[1)]、岡部　莉奈[1)]、
吉川　万紀[1)]、林　　純子[1)]、中山小太郎純友[1)]、細川　美香[1)]、中尾まゆみ[1)]、
冨山　佳昭[3)]、清川　知子[1)]、加藤　　恒[1,2)]

9:28～9:56

優秀演題賞候補講演２「移植・細胞療法１」

座長：吉原　享子（兵庫医科大学病院　輸血・細胞治療センター）

新井　康之（京都大学医学部附属病院　細胞療法センター）

Ⅱ-1　ペグフィルグラスチムを用いた短期入院による同種造血細胞移植ドナーの末梢血幹細胞採取

[1)]大阪公立大学大学院医学研究科　血液腫瘍制御学、
[2)]大阪公立大学大学院医学研究科　臨床検査・医療情報医学、
[3)]社会医療法人若弘会　若草第一病院　血液内科
○久野　雅智[1)]、梅本由香里[1)]、田中　里苗[1)]、佐藤　朱律[1)]、仲子聡一郎[1, 2)]、岡山　裕介[1)]、中舎　洋輔[1)]、井戸健太郎[1)]、堀内　美令[1)]、長﨑　譲慈[1)]、岡村　浩史[1, 2)]、西本　光孝[1)]、中嶋　康博[1)]、中前　美佳[1, 2)]、日野　雅之[1, 3)]、中前　博久[1)]

Ⅱ-2　自己末梢血幹細胞動員におけるPegfilgrastimとFilgrastimの比較検討

[1)]京都大学医学部附属病院　血液内科、
[2)]京都大学医学部附属病院　細胞療法科、
[3)]京都大学医学部附属病院　検査部
○羽田美沙祈[1)]、城　　友泰[1, 2, 3)]、新井　康之[1, 2, 3)]、松井　宏行[1)]、吉永　則良[1)]、阪本　貴士[1)]、諫田　淳也[1)]、山下　浩平[1)]、長尾　美紀[3)]、高折　晃史[1)]

Ⅱ-3　Web事前相談フォームを用いたＣＡＲ－Ｔ療法施設間連携の初期運用経験

[1)]大阪公立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学、
[2)]大阪公立大学大学院医学研究科臨床検査・医療情報医学
○中舎　洋輔[1)]、長﨑　譲慈[1)]、中嶋　康博[1)]、岡山　裕介[1)]、堀内　美令[1)]、井戸健太郎[1, 2)]、久野　雅智[1)]、岡村　浩史[1, 2)]、中前　美佳[1, 2)]、西本　光孝[1)]、中前　博久[1)]

Ⅱ-4　慢性移植片対宿主病に対する体外フォトフェレーシスを、血液内科外来処置室にて円滑に導入できた1例

[1)]和歌山県立医科大学　血液内科、[2)]和歌山県立医科大学附属病院　輸血部、
[3)]和歌山県立医科大学附属病院　卒後臨床研修センター、
[4)]和歌山県立医科大学附属病院　看護部、
[5)]和歌山県立医科大学附属病院　臨床工学センター
○谷河　育朗[1)]、細井　裕樹[1, 2)]、冷水　詩音[1, 3)]、宮本ありさ[1, 3)]、高木　　良[4)]、内垣亜希子[4)]、森　　絢加[5)]、前田　拓実[5)]、橋本　結理[5)]、大槻　勇人[5)]、中村　一貴[5)]、堀端　容子[2)]、村田　祥吾[1)]、園木　孝志[1)]

10:05～10:26

優秀演題賞候補講演３「輸血検査２」

座長：井上　寛之（京都府立医科大学附属病院　輸血・細胞医療部）
井手　大輔（近畿大学病院　輸血・細胞治療センター）

Ⅲ-1　移行抗体と異型大量輸血の既往によって血液型誤認に至った乳児の一例

大阪市立総合医療センター　輸血部
○橘髙　捺実、福井　直希、宇佐美真由、長澤　里香、赤塚　柚奈、
金髙　克成、横田　裕香

Ⅲ-2　不規則抗体スクリーニングで酵素法のみ陽性となり抗体が同定された症例の患者背景および抗体特異性の検討

滋賀医科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部
○井筒　雅大、内林佐知子、小室　伸子、茂籠　弘子、湯本　浩史、
西村　理恵、南口　仁志、村田　　誠

Ⅲ-3　演題取り下げ

Ⅲ-4　ABO血液型ウラ検査弱反応に対するORTHO VISION自動再検査の導入効果

京都大学医学部附属病院　検査部　輸血・細胞療法センター
○金城　颯真、丹羽　紀実、庄司　皓太、加藤　陽乃、平口　素子、
濱野　京子、菱田　理恵、橋本　誠司、城　　友泰、新井　康之、
長尾　美紀

10:26～10:47

優秀演題賞候補講演４「輸血臨床１」

座長：加藤　　恒（大阪大学医学部附属病院　輸血・細胞療法部）

Ⅳ-1　当院におけるクリオシール導入の経緯と運用改善による件数増加の経験

奈良県立医科大学附属病院輸血部
○谷山　　歩、大前　和人、平林沙江子、田中　宏明、下村　志帆、
酒井　和哉、松本　雅則

Ⅳ-2　RhD陰性妊娠可能年齢女性に対する血漿交換療法においてRhD陽性FFPを使用した症例

奈良県立医科大学附属病院　輸血部
○柿原　　匠、大前　和人、長尾莉々子、平林沙江子、田中　宏明、
谷山　　歩、上野　華恵、下村　志帆、馬場　由美、酒井　和哉、
松本　雅則

Ⅳ-3 リンパ増殖性疾患を合併し、ステロイドが奏効した寒冷凝集素症の一例

[1]新宮市立医療センター　内科、[2]新宮市立医療センター　中央検査部、
[3]和歌山県立医科大学　地域医療支援センター
○寺本　　寛[1]、武内　　廉[1]、南　　熊野[2]、葛原　和紀[2]、蒸野　寿紀[3]

11：00～11：40

セミナー1

座長：魚嶋　伸彦（京都第二赤十字病院　血液内科）

PNH診療の新たな展開
― 参照ガイドとリアルワールドデータから考えるこれからの抗補体療法 ―

川崎医科大学　血液内科学
北脇　年雄

共催：アレクシオンファーマ合同会社

12:45～13:35

ランチョンセミナー1

座長：大城　宗生（京都第一赤十字病院／男山病院　血液内科）

多様化する血友病治療におけるマルスタシマブの位置づけ
― 患者とともに考える治療選択 ―

関西医科大学附属病院　小児科
松野　良介

共催：ファイザー株式会社

13:45～14:13

一般講演1「輸血管理」

座長：池本　純子（兵庫医科大学病院　輸血・細胞治療センター）
阿部　　操（関西医科大学附属病院　輸血・細胞療法部）

Ⅴ-1 当院における無菌的分割製剤作成・管理システムの運用方法

大阪医科薬科大学病院　輸血室
○南　有美子、鴨川　康代、平松　潔子、渡邊由香理、泉原由美子、
北畑　建太、入道　諒祐、丸石　桃花、河野　武弘

Ⅴ-2 当院でのクレオプレシピテート導入について

兵庫県立はりま姫路総合医療センター　検査部
○三木　美穂、四ッ谷拓歩、松本　治生、高城　恵子、青地　　寛、
山名　美紀、米澤　賢二、山内由里子

Ⅴ-3 輸血前保存検体が診断の一助となった後天性サイトメガロウイルス（CMV）感染症の一症例

[1)]大津赤十字病院　輸血部、[2)]大津赤十字病院　検査部、
[3)]大津赤十字病院　新生児科
○大濱　真伸[1)]、足立　朱里[1,2)]、本條　綾菜[1,2)]、小杉　優樹[1,2)]、
小川　由里[1,2)]、松林　優子[3)]、中村　健治[3)]、谷口　孝夫[2)]、竹岡　友晴[1)]

Ⅴ-4 円滑な輸血支援のために～抗Dibを含む不規則抗体を有する患者への対応から～

[1)]大阪大学医学部附属病院　輸血・細胞療法部、
[2)]大阪大学大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科学、
[3)]医療法人財団　樹徳会　上ヶ原病院
○見山　晋一[1)]、若松伸乃介[1)]、池田　宇慶[1)]、岡部　莉奈[1)]、林　泰輝[1)]、
吉川　万紀[1)]、林　純子[1)]、中山小太郎純友[1)]、細川　美香[1)]、
中尾まゆみ[1)]、冨山　佳昭[3)]、清川　知子[1)]、加藤　恒[1,2)]

14:13～14:34

一般講演３「輸血検査３・輸血教育」

座長：清川　知子（大阪大学医学部附属病院　輸血・細胞療法部）

Ⅵ-1 免疫グロブリン製剤由来の抗体が交差適合試験に影響した症例

京都大学医学部附属病院 検査部・細胞療法センター
○加藤　陽乃、菱田　理恵、丹羽　紀実、濱野　京子、平口　素子、
金城　颯真、庄子　皓太、橋本　誠司、城　友泰、新井　康之、
長尾　美紀

Ⅵ-2 抗e自己抗体を保有する患者に輸血を実施した１症例

[1)]滋賀医科大学医学部附属病院、輸血・細胞治療部、
[2)]滋賀医科大学医学部附属病院、小児科、
[3)]滋賀医科大学医学部附属病院、血液内科
○小室　伸子[1)]、内林佐知子[1)]、井筒　雅大[1)]、茂籠　弘子[1)]、湯本　浩史[1)]、
大封　智雄[2)]、西村　理恵[1,3)]、南口　仁志[1,3)]、村田　誠[1,3)]

Ⅵ-3 産科危機的出血に対する当直技師教育の取り組み

[1)]川西市立総合医療センター　臨床検査科、
[2)]川西市立総合医療センター　産婦人科
○中川　由貴[1)]、山本　愛子[1)]、山口　桃果[1)]、南川　浩彦[2)]、荘園ヘキ子[2)]

14:45～15:25

セミナー3

座長：植田　康敬（大阪大学大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科学）

骨髄不全型PNHの診断と治療戦略
― 新ガイドラインと近位補体阻害薬の位置づけ ―

金沢大学・医薬保健学域医学類　血液内科学
細川　晃平

共催：Sobi Japan 株式会社／旭化成セラピューティクス株式会社

15:35～16:15

セミナー5

座長：志村　勇司（京都府立医科大学附属病院　輸血・細胞医療部）

持続可能なCAR-T細胞療法を実現するための運用最適化
― 京大病院のreal-world experience ―

京都大学医学部附属病院　検査部・細胞療法科
城　　友泰

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

16:20～16:50

特別講演

座長：松本　雅則（奈良県立医科大学附属病院　血液内科）

和歌山県の輸血・細胞治療の課題

和歌山県立医科大学附属病院　血液内科・輸血部
園木　孝志

16:50～17:00

表彰式

17:00～17:05

閉会式

第２会場（瑠璃２）

11:00～11:40

セミナー２

座長：南口　仁志（滋賀医科大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部）

B細胞性急性リンパ性白血病治療における抗体療法の位置づけ
― 再発・難治例をMRDと病勢から捉える ―

関西医科大学　内科学第一講座　血液腫瘍内科
佐竹　敦志

共催：アムジェン株式会社／アステラス製薬株式会社

11:50～12:20

評議員会

12:20～12:30

総会

12:45～13:35

ランチョンセミナー２

座長：淵田　真一（JCHO 京都鞍馬口医療センター　血液内科）

CAR-T細胞療法が果たす役割
地域に根ざした難治性DLBCLの診療

京都府立医科大学大学院医学研究科　血液内科学
藤野　貴大

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

13:45～14:13

一般講演２「輸血臨床２」

座長：酒井　和哉（奈良県立医科大学　輸血部）
北村　憲一（済生会滋賀県病院　血液内科）

Ⅶ-1 para-Bombay型の事前情報を有する産科危機的出血患者に対する緊急輸血対応

[1]近畿大学病院　輸血・細胞治療センター、
[2]大阪府済生会富田林病院　臨床検査科、[3]近畿大学病院　血液・膠原病内科
○井手　大輔[1]、前田　朋子[1]、國弘　　暁[2]、米田　将太[1]、米本　綾美[1]、
宮本菜々実[1]、川原　実緒[1]、中野　勝彦[1]、福島　靖幸[1]、川野　亜美[1]、
前田　岳宏[1]、椿本　祐子[1]、口分田貴裕[3]、頼　　晋也[3]、田中　宏和[1, 3]

Ⅶ-2 抗D様自己抗体を保有する生後2か月ベビーへの輸血

京都大学医学部附属病院　検査部・細胞療法センター
○濱野　京子、菱田　理恵、丹羽　紀実、加藤　陽乃、金城　颯真、
平口　素子、庄子　皓太、橋本　誠司、城　　友泰、新井　康之、
長尾　美紀

Ⅶ-3 当院における自己フィブリン糊作成の運用体制と実績

[1]滋賀医科大学附属病院　輸血・細胞治療部、
[2]滋賀医科大学　血液内科学講座
○西村　理恵[1]、南口　仁志[1]、三浦由布子[1]、茂籠　弘子[1]、井筒　雄大[1]、
小室　伸子[1]、内林佐知子[1]、湯本　浩史[1]、村田　　誠[1, 2]

Ⅶ-4 当院におけるアルブミン製剤使用状況

京都府立医科大学附属病院　輸血部　細胞医療部
○土井真由美、井上　寛之、後藤　光里、阿多　遥香、國門　里咲、
今西　　唯、安本　都和、古屋　智子、志村　勇司

14:13～14:34

一般講演４「移植・細胞療法２」

座長：細井　裕樹（和歌山県立医科大学　血液内科）

Ⅷ-1 凍結細胞製剤の融解におけるBarkey plasmatherm導入の有用性

京都大学医学部附属病院 検査部・細胞療法センター
○庄子　皓太、金城　颯真、加藤　陽乃、平口　素子、濱野　京子、
菱田　理恵、丹羽　紀実、橋本　誠司、城　　友泰、新井　康之、
長尾　美紀

Ⅷ-2 同種移植後も遷延したMGUS関連赤芽球癆にダラツムマブが反復奏効した一例

[1]兵庫医科大学病院　輸血・細胞治療センター、
[2]兵庫医科大学　血液内科学、[3]明和病院
○吉原　享子[1, 2]、松井　利光[3]、大島　万理[1]、辻本　真央[1]、佐守　真実[2]、
藤田　佳之[2]、髙橋　早希[2]、山形　冬樹[2]、宇都宮惟人[2]、池本　純子[1]、
日笠　　聡[1, 2]、吉原　　哲[1, 2]

Ⅷ-3 血液透析用カテーテルを用いたリンパ球アフェレーシスにおける、カテーテル関連トラブルのリスク因子の同定

[1)]京都大学医学部附属病院　血液内科、
[2)]京都大学医学部附属病院　検査部・細胞療法センター、
[3)]京都大学医学部附属病院　細胞療法科、
[4)]京都大学大学院医学研究科　人間健康科学系専攻
○城　　友泰[1,2,3)]、鈴木　優太[1)]、新井　康之[1,2,3)]、北脇　年雄[1)]、
松井　宏行[1)]、吉永　則良[1)]、阪本　貴士[1)]、諫田　淳也[1)]、錦織　桃子[1,4)]、
山下　浩平[1)]、長尾　美紀[2)]、高折　晃史[1)]

14:45～15:25

セミナー4

座長：村田　　誠（滋賀医科大学医学部医学科　血液内科学講座）

体外フォトフェレーシス（ECP）導入における院内連携とチーム医療の実際

神戸大学医学部附属病院　腫瘍・血液内科
薬師神公和

慢性GVHDにおける不可逆的臓器障害を防ぐためのECP早期導入戦略

大阪公立大学大学院医学研究科　血液腫瘍制御学
中前　博久

共催：セラコスジャパン株式会社

15:35～16:15

セミナー6

座長：吉川　浩平（彦根市立病院　血液内科）

再発・難治性DLBCL治療の最適化

近畿大学医学部　血液・膠原病内科　医学部講師
口分田貴裕

共催：中外製薬株式会社